

事業所名 ラシク小田原(放デイ)

支援プログラム(参考様式)

作成日

令和8年

4月

1日

法人(事業所)理念		自分らしく安心して過ごせる場所を提供します								
支援方針		たくさんのお友達と一緒にさまざまな「遊び」や「体験」を経験することを通して、心と体の成長を最大限のものとなるよう支援し社会的な集団生活に必要なマナーやコミュニケーション力の育成を図ります。発達に特性がある子どもたちの安心・安全な居場所として存在し、自分らしく過ごしながら行動面・学習面・コミュニケーション面などの側面から支援を行い、子どもたちの生活や社会経験がより豊かになるように支援します。子どもたちが楽しく参加出来る外出イベントも多数実施し、地域交流を積極的に行いながら社会との繋がりを育んでいきます。								
営業時間		14時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	必要に応じ、湯たんぼや手足浴等を取り入れ血行を良くし、疲れや緊張を和らげ安心して過ごせるように支援していく 指先を使った活動を行い、持っている力を維持できるよう支援していく								
	運動・感覚	拘縮予防に努めポジショニングやストレッチに取り組んでいく。またPT(学校)作成の拘縮予防マニュアルを活用し支援していく 手足湯・施術等で筋肉を解す オルゴール等を流しプラネタリウムやスヌーズレンでリラックスする スタッフと一緒にバランスボールに座って揺れたり、ボールの上に仰向けになって体を伸ばし、普段の生活とは違った動きが行えるよう支援していく								
	認知・行動	友達と一緒に合奏等を楽しみながら、視覚・聴覚・触覚など、感覚の協調を促す遊びを取り入れていく 綺麗な物に触れ、様々な製作活動を楽しみながら経験を増やしたり、達成感を味わう								
	言語 コミュニケーション	声を出し思いを伝える・自分が出した音を楽しむ・製作活動を楽しむなど、負担にならない範囲でコミュニケーションを取ったり、身体を使い可動域が維持できるようにしていく どんな時にどんな声・表情になるかを理解し対応するために、本人からのサインを見逃さないよう支援を行う スタッフと一緒にリズムに合わせ、リハビリ運動を行っていく								
	人間関係 社会性	サインから好きな事(物)を見つけコミュニケーションに活かせるよう支援していく 体調に配慮しながら、お友達と一緒に色々な事を体験し楽しめるよう支援を行う								
家族支援		・ご自宅への送迎の際、ラシクでの過ごしの様子や日々の支援について報告共有を行います。また必要に応じてご自宅を訪問し子どもたちへの家庭での支援について助言・アドバイスをいたします。 ・ご要望に応じて延長支援が可能です。				移行支援		インクルージョン(地域社会への参加・包摂)推進の観点から、子どもや家族の意向等も踏まえつつ、移行等へ向けた支援を行います。		
地域支援・地域連携		子どもに関わる地域や生活の場にある関係機関や障害福祉サービス事業所等と連携し、より包括的な支援が実現できるように推進します。				職員の質の向上		定期的なスキルアップ研修、虐待防止研修の実施を行います。 各拠点においては日々の支援の振り返り、ヒヤリハットの共有を実施します。		
主な行事等		春：お花見、ひな祭り 夏：バーベキュー 秋：運動会、紅葉狩り、ハロウィン 冬：クリスマス、初詣、節分 通年：動物園、アスレチック、公園遊び、おやつ作り、工作、実験、室内ゲーム、映画鑑賞等								

事業所名 ラシク小田原（児発）

支援プログラム（参考様式）

作成日 令和8年 4月 1日

法人（事業所）理念		自分らしく安心して過ごせる場所を提供します								
支援方針		たくさんのお友達と一緒にさまざまな「遊び」や「体験」を経験することを通して、心と体の成長を最大限のものとなるよう支援し社会的な集団生活に必要なマナーやコミュニケーション力の育成を図ります。発達に特性がある子どもたちの安心・安全な居場所として存在し、自分らしく過ごしながら行動面・学習面・コミュニケーション面などの側面から支援を行い、子どもたちの生活や社会経験がより豊かになるように支援します。子どもたちが楽しく参加出来る外出イベントも多数実施し、地域交流を積極的に行いながら社会との繋がりを育んでいきます。								
営業時間		11時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	抱っこなどで視点を変え生活の幅を広げる 食事介助をする中でスタッフとコミュニケーションを取りながら楽しく食事をすすめる 食事、歯磨き、排泄、衣類の着脱、片付けなど声掛けと行動が一致するよう支援をしていく								
	運動・感覚	視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるよう遊びを通して支援する 好きな音楽に合わせて身体を動かしたり、初めて聞くような曲を聴くことで感覚に刺激を与え、活動を通して楽しさを増やしていく 楽器で音、ボールで音と振動を楽しむと共に、苦手な音を確認する スヌーズレンやプラネタリウムを見ながらリラックス出来る環境を整える								
	認知・行動	見やすい色・大きさを認識し、追視の状態を把握する どんな時に良い表情(笑顔)になるかを見つけ好きな遊びを増やし、何が苦手かを知る								
	言語 コミュニケーション	本人の状況と本人からのサインの結びつきの理解と共有 健康状態を把握し、表情・眼力・声、身体の動きや緊張・行動・症状からの訴えを見逃さないようにする 表情を見ながら無理なく安全に楽しく関われるよう支援を行う								
	人間関係 社会性	家族以外の人と触れ合い、ラシクも安全で楽しいと思えるような支援を心掛ける 指差し、身振り、手話等を用いて意思の伝達出来るよう支援を行う								
家族支援	・ご自宅への送迎の際、ラシクでの過ごしの様子や日々の支援について報告共有を行います。また必要に応じてご自宅を訪問し子どもたちへの家庭での支援について助言・アドバイスをいたします。 ・ご要望に応じて延長支援が可能です。				移行支援	インクルージョン（地域社会への参加・包摂）推進の観点から、子どもや家族の意向等も踏まえつつ、移行等へ向けた支援を行います。				
地域支援・地域連携	子どもに関わる地域や生活の場にある関係機関や障害福祉サービス事業所等と連携し、より包括的な支援が実現できるように推進します。				職員の質の向上	定期的なスキルアップ研修、虐待防止研修の実施を行います。 各拠点においては日々の支援の振り返り、ヒヤリハットの共有を実施します。				
主な行事等	春：お花見、ひな祭り 夏：バーベキュー 秋：運動会、紅葉狩り、ハロウィン 冬：クリスマス、初詣、節分 通年：動物園、アスレチック、公園遊び、おやつ作り、工作、実験、室内ゲーム、映画鑑賞等									